

# 「阻止できる」拡散40万人

## 若手弁護士会のフェイスブックの記事

ピードで拡散しています。18日昼すぎで、40万4000人のフェイスブック画面に表示されるまでに広がっています。

記事は、戦争法案が衆院特別委員会でも強行採決された直後に書いたものです。

「そもそも法案というものが成立する道のりは2つ」と、国会のルール解説をしながら「対抗手段は、とにかく問題点を広く知らせ、反対意見をあらゆる方法でアピールし続けて、会期内に参院で通させないこと」と呼びかけています。

読んだ人からは「こんな知識がほしかった」「こういう獲得目標でたたかえばいいのか」など、歓迎の声があがっています。

会の共同代表、黒澤いつきさん(34)は「強行採決の報道であきらめかけた人に、声をかけることができよかった。多くの人が、今後どうたたかうべきなのかの情報に飢えていると思う」と語っています。

【安保関連法案、まだ阻止できる！】  
衆議院強行採決≠法案成立

法律の作り方は2通り

方法1 同一の会期内に衆議院と参議院の両院過半数の賛成多数で議決

方法2 参議院が衆議院から法案を受け取って60日以内に議決しない場合、衆議院の2/3以上の賛成で再議決(60日ルール)

衆議院を通過しても、参議院で可決されなければ法案成立しない。  
参議院でグダグダ60日経っても、衆議院で再議決しない限り成立しない。

あすわかの「安保関連法案 まだまだ阻止できます☆」を要約したもの

# 止めよう

## 戦争法案

「まだ諦めなくてもいいのです、どうか諦めてはいけません！ まだ私たちはこの法案の成立を阻止できます」。明日の自由を守る若手弁護士の会が15日にフェイスブックなどに掲載した記事「安保関連法案 まだまだ阻止できます☆」が驚異的なス